

京都大学国際高等教育院特定講師（英語）の公募について

2018年7月19日

<b>職種</b>	特定講師（テニユアトラック）
<b>募集人員</b>	1名
<b>勤務場所</b>	京都大学国際高等教育院附属国際学術言語教育センター（所在地：京都市左京区吉田二本松町）
<b>勤務内容</b>	<p>(1) 全学共通科目としての「一般学術目的の英語（EGAP）」の科目を担当。 1コマ90分授業で、各学期週8～10コマ</p> <p>(2) 英語学習に関する相談業務や学習支援</p> <p>(3) 英語運用能力の向上のためのシンポジウムやワークショップなどの企画・運営・実施</p> <p>(4) 教材開発などの教育改善にかかわる活動</p> <p>(5) 入試にかかわる業務</p> <p>(6) その他、学内の委員会活動</p>
<b>資格等</b>	<p>以下の条件を全て満たしていること。</p> <p>(1) 博士の学位を取得しているか、あるいはそれと同等の能力を有すること。</p> <p>(2) 英語教育学（TEFL や TESL を含む）または英語教育に貢献できる関連分野を専門としていること。</p> <p>(3) 学術目的の英語科目（EAP）のライティング授業を担当できること。</p> <p>(4) 大学での英語教育の経験があること。3年以上の経験が望ましい。</p> <p>(5) 英語を母語とするか、または同等の英語運用能力を有すること。</p> <p>(6) 日常業務を遂行する上で十分な日本語運用能力を有すること。</p>
<b>雇用期間</b>	<p>2019年4月1日～2024年3月31日</p> <p>上記の5年の任期を付し、中間審査および最終審査に基づき、テニユア教員（講師）としての採否を決定する。</p>
<b>試用期間</b>	あり（6か月）
<b>雇用形態</b>	<p>専門業務型裁量労働制（週38時間45分相当、1日7時間45分相当）</p> <p>休日：土・日曜日、祝日、年末年始、創立記念日及び夏季一斉休業日</p>
<b>給与</b>	<p>年俸制</p> <p>本学支給基準に基づき、能力・経歴に応じて決定（年間780万円程度）</p>
<b>手当</b>	なし
<b>社会保険</b>	文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険及び労災保険に加入
<b>応募方法</b>	以下の5種類の提出書類をいずれも5部ずつ封入の上、下記宛先に郵送のこと。なお、簡易書留による郵送に限る。

	<p>封筒には「英語講師(テニュアトラック教員)応募書類」と朱書きすること。 (送付先) 〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町 京都大学国際高等教育院</p>
<b>提出書類</b>	<p>(1) [履歴書] 様式随意。本籍不要。高等学校卒業から記載。所属学会を記載。個人用のメールアドレスや電話番号なども記載。</p> <p>(2) [教育業績表] これまでの担当科目や、教材開発、教科書の執筆、カリキュラムの企画・運営ならびに教育改善にかかわった経験などについて記載すること。</p> <p>(3) [研究業績表] 「著書」、「論文」、「その他の業績」などに分ける。古いものから順に記載。印刷中か印刷予定である場合は、そのことを示す文書を添付。招待講演や基調講演などは「その他の業績」に含めてよいが、口頭発表は不要。</p> <p>(4) [主要研究業績3編] 複写可。部分執筆や共同執筆の場合は、本人の寄与部分を示すこと。後日、全業績の提出を求められることがある。</p> <p>(5) [貢献展望] これまでの大学での英語教育の経験や実績を踏まえて、本学の英語教育にどのように貢献できるかを記載すること。標準的な行数と文字数で、日本語と英語の両方でA4用紙それぞれ2枚以内。</p> <p>(6) 最終学歴の証明書(学位記の写しまたはそれに代わる書類)</p>
<b>応募締切</b>	2018年8月24日(金曜日)(必着)
<b>選考方法</b>	<p>書類選考の上、2018年9月頃、本学にて面接を行う。面接の際には、模擬授業を課す場合がある。</p> <p>旅費や滞在費などは応募者の自己負担とする。</p>
<b>お問い合わせ先</b>	<p>京都大学国際高等教育院 通信手段は電子メール(A30kyouikuin*mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)に限る。 *は@に変えること。</p> <p>2018年8月11日(土)から8月19日(日)の期間は、事務室を閉室いたします。</p>
<b>その他</b>	<p>提出書類は、採用審査のみに使用します。</p> <p>書類は、原則返却いたしません。但し、著書の返却を希望する場合には、返信用の封筒と切手を必ず同封してください。</p> <p>本学は男女共同参画を推進しています。女性教育・研究者の積極的な応募を期待します。</p>